

News Letter

 創立 100 周年を見据えて 〒807-0861 福岡県北九州市八幡西区堀川町12番10号

TEL 093-602-2100 (代表) FAX 093-692-5690

E-mail: info@orioaishin.ac.jp

URL: http://www.orioaishin.ac.jp/

学園聖句： 「光の子らしく歩きなさい」
(エペソ人への手紙5章8節)

建学の精神 EST. 1935 (昭和10年)

- ・キリスト教に基づく人格教育を行います。
- ・専門教科による職業教育を行い、有能な人材を育成します。
- ・自主独立の精神を養います。
- ・国際交流による国際理解教育を行います。



入学式 入学おめでとう！

4月8日(金)、入学式・進級式が行われました。新入生氏名点呼で508名の新入生進級生は期待と希望を持って元気よく返事をしていました。入学を祝って応援団によるエールが送られました。

新入生代表の中山綾さん・松井義弥さん・梶原未来さん



保育コース

社会見学

3月4日(金)、毎年1年生を対象に保育への興味関心を持ってもらうために行われている、子育てふれあい交流プラザへの見学がありました。施設の方の説明と幼児教育には欠かせない玩具にふれ、保育教育の大切さを学ぶ時となりました。

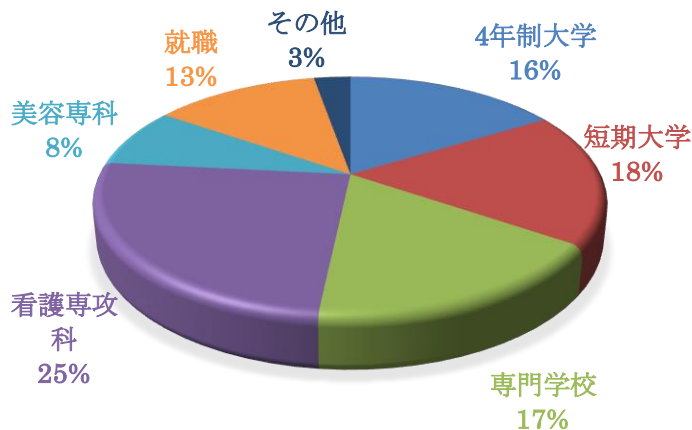


商業コース

産業現場実習

3月8日(火)、2年生56名が富士通コミュニケーションサービス株式会社への産業現場実習へ行きました。3年前より実際の職場を見学することにより勤労観や職業観を育成するとともに課題意識の高揚を図り、学習課題発見の一助とすることを目的として始められました。実際に体験することで、企業の厳しさや大変さが分かる実習でした。

平成27年度 進路分布



平成27年度(2015年度)進路状況に関して、分布図に示しています。今年度も就職に関しては**6年連続の100%**を達成しました。

美容専攻科コースを除く平成27年度国家試験の合格発表があり、介護福祉士は**4年連続の100%**を達成しました。また、他の科コースの結果も高い合格率となり、今年度への弾みとなりました。結果は下記の通りです。

国家試験	本校合格率	全国平均
看護師	84.6%	89.4%
介護福祉士	100%	57.9%
製菓衛生師	100%	70.0%



吹奏楽部

第9回定期演奏会

3月6日(日)、第9回吹奏楽部定期演奏会がなかまハーモニーホールで行われました。今年のゲストは和太鼓奏者の古賀大雅氏をお迎えしての演奏会となり、和太鼓の迫力に圧倒されるステージでした。また、演奏会を昼間の時間帯に変更して行いましたが、例年よりも多くの入場者に恵まれ部員達も一生懸命頑張っていました。



演奏中の古賀大雅氏

校外活動

1年生スケート教室

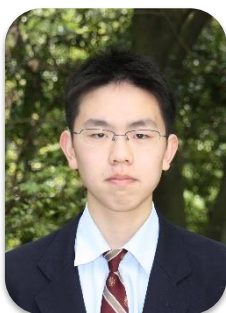
3月11日(金)、校外活動の一環として1年生対象にスケート教室がありました。西日本総合展示場本館内に設置された北九州アイススケートセンターで実施され、初めて滑る生徒や滑り慣れた生徒もいて半日楽しい活動となりました。



楽しい一日となりました。

被災地の役に

東日本大震災から5年目となる3月11日(金)、芦屋町の中高生ら児童生徒19人でつくるボランティア団体「りーどぼらんていあキッズ」の代表を務める本校2年海津正裕さんが、宮城の小学校に図書カード計8万円分を贈った記事が毎日新聞に掲載されました。この団体は、昨年9月に開いた研修会で、南三陸町で活動する北九州市立大生から話を聞いたことがきっかけとなり2011年に結成し、「被災地の役に立ちたい」と考え物販を続けている団体で、海津さんは「更に災害の勉強を重ね、状況に応じた支援ができるようになりたい」と意欲を見せていました。



テニス部

車椅子テニス大会ボランティア

3月4日(金)~6日(日)の3日間、KITAKYUSHU OPEN 2016~国際車いすテニストーナメント2016北九州~が行われ本校テニス部がボランティアで参加しました。毎年行われている車いすテニス大会は国内外から多くの選手が参加し迫力あるプレーに生徒達も驚いていました。



「草創期の黒田藩と栗山大膳 黒田家と関ヶ原の戦い⑤

繰り返された七度にわたる攻防は、双方多くの武将・将兵を失い、特に、大友勢に至っては主だった名だたる将士を失い、敗退のやむなきに至ったのです。慶長五年(1600)九月十五日の日没、義統は剃髪して黒染めの衣をまとい、僅か十余人の従者に護られて、悄然と如水の軍門に降ったと云います。あたかもこの日は、関ヶ原決戦の当日でしたが、如水は関ヶ原の様子は知る由もなく、この勝利の勢いで、九州平定に当たろうとしていました。さすがの如水も関ヶ原の戦いが一日にして決着するなどは予想も出来ませんでした。いずれ戦はに二、三ヶ月近くは続くだろう。そうすれば、三成、家康双方共に軍勢は疲れ果てて、両軍戦力を失うことになる。其の頃合をみて、中央に上り、両軍を撃破、いっきに天下を取る計略を密かに胸に抱いていたと云われています。関ヶ原の終結を知ったのは八日後の九月二十三日、国東半島の富来城を攻撃中だったと云われています。『何たることぞ』と儂くも夢破れ散った思いを抱きますが、天下が家康のものとなった以上は、家康のために城攻めをしていると見せなければ、こちらが危ないと決意、安岐、富来、白杵、佐伯、日隈、角牟札の各城を落とし、さらに北上して香春岳、小倉の各城を攻略、さらに、西進して久留米、柳川の各城を開城して豊前、筑後も平定しています。九州における如水の働きは、眼を見張るものがありますが、家康は如水に対しては恩賞の一声も与えず『如水の心底が解らぬ』と笑って云ったと云います。

小田弘之著書「草創期の黒田藩と栗山大膳」より